

1 教科の到達目標（学習のねらい、身に付けたい力）

- みんなで音を出すことの楽しさを体験し、音や音楽に対する関心を持ち、豊かに音楽を感じ、生涯にわたって音楽に親しむ心を育む。
- 音楽表現の豊かさや美しさを感じ取って表現するための基礎となる、発声の仕方や楽器の奏法などを身に付け、創意工夫して表現する。
- 日本の心の歌や日本の伝統的な音楽、さらには世界各国の音楽に対する理解を深め、音楽の多様性のよさについて知る。

2 年間学習計画と単元（題材）

学期	月	題材名・単元名	内容	達成目標(ねらい)
1	4	歌唱「花（滝廉太郎）」	・歌詞の内容を理解して、曲にふさわしい表現を工夫する。	・歌詞の表す情景や味わいに興味を持ち、曲にふさわしい表現について考え表現する。
	5	アルトリコーダー 「エーデルワイス」	・レガート奏法に気を付け情景を表現する。	・シャープやフラットの音の運指を理解し、曲想を生かした音楽表現をする。
		鑑賞「ブルタバ」	・音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わう。	・速度、強弱、楽器の音色と音楽を形づくっている要素の関わりを理解して、根拠をもって批評する。
2	6	リズムゲーム	・音符、休符の名前を確認し、簡単なリズムを創作する。	・グループでリズムを創作し、創意工夫して音楽をつくる。
	7	箏「さくらさくら」 「六段の調べ」	・さまざまな技法で箏の楽器の良さを感じて表現する。	・箏の音色を味わい、さまざまな技法を用いて旋律の繰り返し方や重ね方を工夫する。
	9	鑑賞「能」	・能に親しみ、その音楽を味わう。	・声や楽器の音色、旋律の特徴、速度の変化など気を付けながら、能の音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
	10	混声合唱 合唱課題曲・自由曲	・混声四部合唱の豊かなハーモニーを仲間とともに表情豊かに作り上げる。	・歌詞の内容や曲想に関心を持ち、曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
3	11	アルトリコーダー 「前奏を創作しよう」	・曲にあった前奏を創作して、リコーダーを演奏する。	・4小節程度の短い前奏を創作し、前奏を含むリコーダーの演奏をすることができる。
	1	混声合唱 合唱「課題曲・自由曲」	・中学三年間の集大成として、仲間とともに表情豊かに合唱する。	・歌詞の内容や曲想を味わい、言葉と旋律との関わりやパートの役割と全体の響きとの関わりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。
		2		・言葉のまとまりや歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫する。
	3	鑑賞「ボレロ」	・音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わう。	・速度、強弱、楽器の音色と音楽を形づくっている要素の関わりを理解して、根拠をもって批評する。

3 評価方法

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・提出物 ・授業プリント ・実技テスト ・定期考査
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚したり、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 ・知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもって表現しようとしている。 ・楽曲の時代背景やその特徴をとらえ、音楽を自分なりに評価しながら、よさや美しさを味わって鑑賞している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・提出物 ・授業プリント ・実技テスト ・定期考査
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・提出物 ・授業プリント ・実技テスト

4 授業の取り組みについてのアドバイス

- ・教科書2冊、ニューコーラスフレンズ、ファイル、ソプラノリコーダー、アルトリコーダー、筆記用具の忘れ物をしない。（すべてバッグに入れてロッカーに置いておく。）
- ・積極的に授業を受け、授業中に私語をしない。
- ・課題に前向きに取り組む。

5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

- ・歌唱、合唱曲については歌詞を読み、歌詞の理解を深める。
- ・鑑賞した楽曲などは背景や特徴について調べ学習をする。
- ・ワークシートや教科書を使って復習をする。

6 定期テスト前の取り組みについてのアドバイス

- ・授業で配布されたプリントを覚える。
- ・歌詞や作詞作曲者、音楽用語などの基本的事項を覚える。

7 苦手な人の取り組みについてのアドバイス

- ・歌うことが苦手、リコーダーが苦手など、苦手意識をもっている人は、失敗や間違いを恐れずに何度も練習しましょう。
- ・できないことを隠すのではなく、積極的に授業で質問してください。どこでつまづいているのか分かれば、アドバイスすることもできます。